



お問い合わせ先

大里農林振興センター 農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210 FAX. 048-526-2494

降雪に対する農作物・農業用施設の対策について

冬に本州の南岸を低気圧（「南岸低気圧」と呼びます）が通過するとき、気温によっては関東地方でも大雪となる場合があります。地上気温だけでなく、上空気温や湿度によっても地上に降るものは変わってしまうので、南岸低気圧による降雪は、現在でも正確な予想が難しい気象現象の一つです。

そのため、急な大雪予報となっても対応できるよう、平時から備えておくことが大切です。そこで、次の点に留意し、降雪に備えましょう。

【農業用ハウス】

(1) 融雪した水が流入したり、滞水しないよう、ハウス周辺に排水溝等を設けたり、ゴミ等が詰まっていないか確認しましょう。

(2) ハウス周辺の除雪を想定し、

支障となるものは予め移動させましょう。
(3) 被覆の外部に設置したネットや遮光資材は、雪の滑落を妨げるため、事前に撤去しましょう。

(4) 積雪による被覆資材のたわみは雪の滑落を妨げます。適切な展張具合となるよう、取付金具の調整等を行いましょう。
(5) ハウスの補強資材や固定部品に、ゆるみが無いか点検しましょう。

(6) 暖房機を点検し、正常に稼働するか試運転を行うとともに、必要に応じて燃料を補給しましょう。特にヒートポンプは、室外機が雪に埋まると機能しなくなるため、点検するとともに除雪できるよう準備を行いましょう。
(7) 除雪時に燃料パイプ等が損傷しないよう、カバー等で保護

を行いましょう。

(8) 積雪により負荷のかかる箇所を、支柱や筋交い等で補強しましょう。

(9) 連棟ハウスの谷間は雪による負荷のかりやすい部分です。谷樋等にゴミがあれば、予め取り除きましょう。

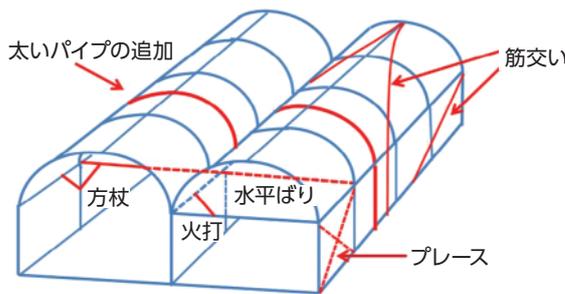


図 ハウスの補強例

※補強の詳細は「大雪による園芸用ハウスの被害調査結果と対策」を御覧ください。
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0903/gijututaisaku/housechousa.html>)

【麦類】

(1) 明きよを排水溝へ連結し、土塊やわらゴミによる詰まりが無い点検しましょう。

(2) 本暗きよが施工されているほ場では、浸透促進のため排水栓を開けましょう。

【野菜】

・小型トンネルは、被覆資材のたわみが無いように点検しましょう。

【果樹】

(1) 多目的防災網や防鳥網を展張してある園では、早急に収納しましょう。
(2) 果樹棚や支柱を補強しましょう。

(3) 立木仕立ての場合は、支柱等で枝を吊り、補強しましょう。

大里農林振興センター

農業支援部

